

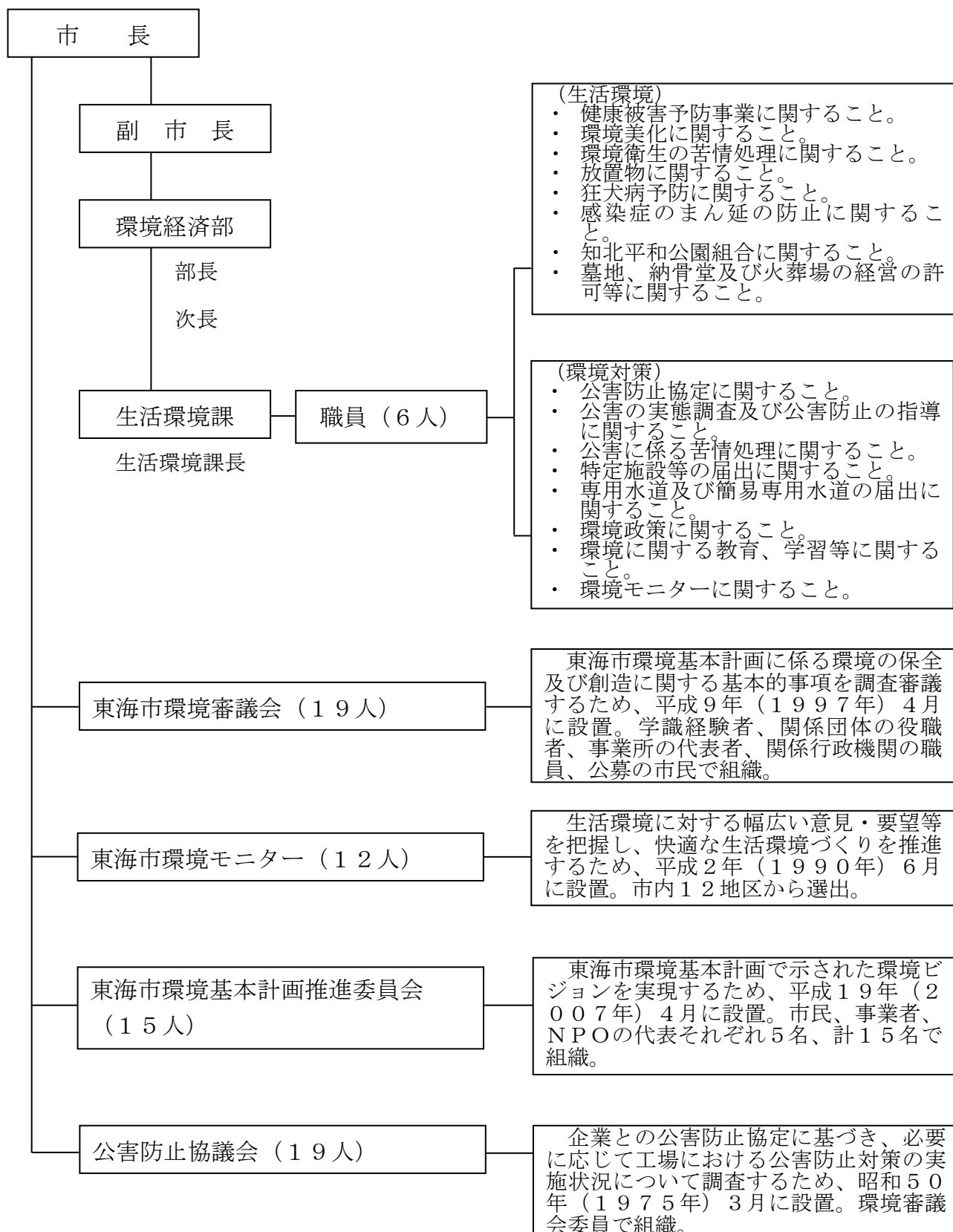
Ⅱ 環境行政の概況



エコスクール：上野新川で生き物を調べよう

1 行政機構

・組織と所掌（令和3年（2021年）4月1日現在）



・審議会、協議会等の活動状況（令和2年度（2020年度））

環境審議会

年 月 日	内 容
令和3年（2021年） 2月2日（火）資料送付	<p>令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となった。以下の内容について資料送付による報告をおこなった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度（2019年度）版 環境基本計画年次報告書 2 令和元年度（2019年度）大気測定結果について 3 令和2年度（2020年度）上半期大気測定結果について

公害防止協議会

年 月 日	内 容
令和3年（2021年） 2月2日（火）資料送付	<p>令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となった。日本製鉄㈱名古屋製鉄所及び大同特殊鋼㈱知多工場における公害防止対策について資料送付による報告をおこなった。</p>

2 環境保全対策費

平成29年度（2017年度）～令和2年度（2020年度）：決算額

令和3年度（2021年度）：予算額

単位：千円

項目\年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
環境保全 対策費	170,278	164,457	158,221	242,301	213,448

注) 環境保全対策費とは、市の予算のうち保健衛生総務費、予防費、環境衛生費、環境美化費、環境対策費、健康被害予防費を合わせたもののうち、生活環境課所管分の経費です。

3 公害監視機器

「公害」とは、環境の保全上の支障のうち、事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染、騒音、振動、地盤の沈下及び悪臭によって、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずることをいう。

(環境基本法 第2条第3項)

・ 公害監視機器配備状況（令和3年（2021年）4月1日現在） 単位：台

用途	機 器 名	数	機 器 名	数
大 気	テレメータ装置	1	ローホリウム・エアサンプラー	5
	二酸化硫黄測定装置	5 (1)	自動ばいじん採取装置	1
	浮遊粒子状物質測定装置	7 (2)	窒素酸化物濃度計	1
	オキシダント測定装置	4 (2)	大気降下物採取器	1
	窒素酸化物測定装置	6 (2)	放射能測定器	3
	風向・風速計	7 (1)	ガス検知器	3
	降下ばいじん計	12 (1)		
水 質	pH計	1		
	インキュベーター	1		
	高圧滅菌器	2		
騒 振 音 動	普通騒音計	2	振動計	1
そ の 他	地下水面検出器	1	分光光度計	1
	シェーカー	1	排水処理装置	1
	純水製造装置	3	原子吸光分光光度計	1
	実験台	1	冷蔵庫	2
	ドラフトチェンバー	3		
	天秤			

(注) () は内数で愛知県設置分

4 公害防止協定

公害防止協定は、法律や条例による一律的な規制では対処の困難な地域的汚染に対し、地域の事情や個別工場の実態に即した効果的な防止対策を行うため締結するものです。

本市では、現在、臨海部の主要企業を始め35社（37工場）と締結しており、このうち鉄鋼3社（日本製鉄㈱名古屋製鉄所、大同特殊鋼㈱知多工場、愛知製鋼㈱知多工場）は県、市及び企業の三者協定で、その他は市と企業の二者協定となっています。

協定内容には、(1)法令を上回る規制値の設定、(2)法令に含まれない規制項目の設定、(3)報告及び立入調査、(4)公害関係施設変更時の事前協議等が盛り込まれており、市ではこれに基づき大気、水質関係等の立入検査を行い指導、監視に努めております。

・締結企業等位置図



事 業 所 名	業 種 等	締 結 年 月 日	主 な 項 目
14 福 山 通 運 (株)	貨 物 自 動 車 運 送 業	H11.8.26	同 上
15 (株) ア ト コ	自 動 車 学 校	H11.10.22	同 上
16 大 宝 運 輸 (株) 鹿 島 リ ー ス (株)	運 送 業 倉 庫 業	H13.10.15	同 上
17 カ ネ 美 食 品 (株)	弁 当 製 造 業	H14.5.28	同 上
18 木 材 開 発 (株) 東 海 工 場	木 材 加 工 販 売	H18.5.25	騒音、振動、悪臭、 廃棄物
19 日 本 陸 運 産 業 (株) 名 古 屋 物 流 セ ン タ ー	輸 送 容 器 の レ ン タ ル	同 上	同 上
20 (株) アイティ物流	運 送 業	同 上	同 上
21 大 一 電 機 産 業 (株)	電 子 応 用 制 御 装 置 の 検 品	H21.4.13	同 上
22 大 有 建 設 (株) 大 東 海 工 場	舗 装 材 料 製 造 業	H24.6.1	大気、水質、騒音、 振動、悪臭、廃棄物
23 (株) 新晃プラント	製 缶 板 金	H28.5.31	水質、騒音、振動、 廃棄物
24-1 (株) 坂角総本舗 本 社 工 場	パン・菓子製造	同 上	大気、水質、騒音、 振動、悪臭、廃棄物
24-2 (株) 坂角総本舗 加 木 屋 工 場	同 上	同 上	同 上
25 金 城 化 工 (株)	工 業 用 プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	同 上	水質、騒音、振動、 廃棄物
26 ト ー カ ロ (株) 名 古 屋 工 場	そ の 他 の 金 属 表 面 処 理 業	同 上	同 上

事	業	所	名	業	種	等	締	結	年	月	日	主	な	項	目										
27	鬼	頭	鋼	材	(株)	鉄鋼シャースリ ット業	同	上				同	上												
28	(株)	大	光	製	作	所	金	属	製	品	工	業	H29.5.31	水	質、騒音、振動、 廃棄物										
29- 1	第	一	螺	子	工	業	株	式	会	社	本	社	工	場	螺	子	工	場	同	上	同	上			
29- 2	第	一	螺	子	工	業	株	式	会	社	第	二	工	場	螺	子	工	場	同	上	同	上			
30	西	脇	金	型	工	業	(株)	プ	レ	ス	金	型	及	び	治	工	具	製	造	販	売	同	上	同	上
31	(株)	東	海	メ	カ	ニ	ッ	ク	ス	機	械	設	備	の	設	置	同	上	同	上	同	上			
32	(株)	伊	藤	商	店	建	築	材	料	製	造	販	売	H30.5.31	大	気、水質、騒音、 振動、廃棄物									
33	竹	内	プ	レ	ス	工	業	(株)	金	属	プ	レ	ス	加	工	業	同	上	水	質、騒音、振動、 廃棄物					
34	三	笠	電	子	工	業	(株)	電	子	部	品	製	造	業	H30.8.7	同	上	同	上						
35	ヤ	マ	ダ	イ	ン	フ	ラ	テ	ク	ノ	ス	(株)	構	造	物	塗	装	R1.5.30	同	上	同	上			

注) ※印は、市・県・企業の三者協定。その他は、市と企業の二者協定。

東名港トラック事業組合については令和3年(2021年)3月31日付けで組合解散の為解除となった。

5 工場・事業所に係る調査及び測定

・調査及び測定での立入回数（令和2年度（2020年度））

単位：回

工場・事業所の名称		大気汚染	水質汚濁	騒音	悪臭	その他	総数
公害防止協定締結工場	東レ(株)東海工場	1	1	1	1	0	4
	伊藤機工(株)知多工場	0	1	1	0	0	2
	日本製鉄(株)名古屋製鉄所	11	1	1	1	0	14
	大同特殊鋼(株)知多工場	5	2	1	0	0	8
	愛知製鋼(株)知多工場	3	1	1	0	0	5
	宮崎精鋼(株)知多工場	0	1	1	0	0	2
	三洋化成工業(株)名古屋工場	0	1	1	0	12	14
	上記以外の公害防止協定締結工場	1	0	0	0	0	1
その他の工場・事業所		5	0	6	5	0	16
総数		26	8	13	7	12	66

・測定実施項目数（令和2年度（2020年度））

単位：件

測定地点の名称		大気汚染				水質汚濁	騒音	悪臭	その他
		原料中硫黄	燃料中硫黄	窒素酸化物	ばいじん				
公害防止協定締結工場	東レ(株)東海工場	0	0	1	1	20	3	4	0
	伊藤機工(株)知多工場	0	0	0	0	20	2	0	0
	日本製鉄(株)名古屋製鉄所	6	2	6	6	160	11	4	0
	大同特殊鋼(株)知多工場	0	2	3	3	40	4	0	0
	愛知製鋼(株)知多工場	0	2	0	0	20	5	0	0
	宮崎精鋼(株)知多工場	0	0	0	0	20	4	0	0
	三洋化成工業(株)名古屋工場	0	0	0	0	20	3	0	12
	上記以外の公害防止協定締結工場	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の工場・事業所		0	0	0	0	0	0	1	0
総数		6	6	10	10	300	32	9	12

注) 測定実施項目数は測定地点ごとに測定した項目数の総数を計上しています。

6 法及び条例による届出（令和3年（2021年）3月31日現在）

・騒音規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例による騒音発生施設届出数

施設の種類				施設の種類				
法	条	例	法	条	例	法	条	例
1	224	1,703	10	72	39			
2	397	1,743	11	0	1			
3	1	339	12		114			
4	200	0	13		3,624			
5	4	6	14		815			
6	0	4	15		4			
7	33	11	16		125			
8	0	0	総 数			958		8,559
9	27	31	工 場 等 総 数			171		419

・騒音規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例による騒音特定建設作業実施届出数

作業の種類			作業の種類		
法	条	例	法	条	例
11	1		0		
0	0				65
251	21				155
4	4				147
2	2				467
1					232
1			総 数		
			270		1,094

・振動規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例による振動発生施設届出数

施設の種類				施設の種類				
法	条	例	法	条	例	法	条	例
1	327	870	9	88	32			
2	147	2,155	10	0	11			
3	21	290	11		4			
4	120	0	12		131			
5	3	2	13		3,897			
6	0	2	総 数			736		7,413
7	30	18	工 場 等 総 数			127		424
8	0	1						

・振動規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例による振動特定建設作業実施届出数

作業の種類			作業の種類		
法	条	例	法	条	例
17	5		183		13
0	0		総 数		
1	0		201		18

・ 県民の生活環境の保全等に関する条例による悪臭関係工場等届出数

	業 種	工場等数		業 種	工場等数
1	畜産農業	*4	8	石油化学工業	1
	(イ) 豚房施設	1	10	製鉄業	1
	(ロ) 牛房施設	3	11	鋳物製造業	1
	(ハ) 鶏飼育	0	14	ごみ処理場	1
2	飼料又は有機質肥料の製造業	1	15	終末処理場	1
7	ゴム製品製造業	1	総 数		11

注) 該当分のみ、*は小計

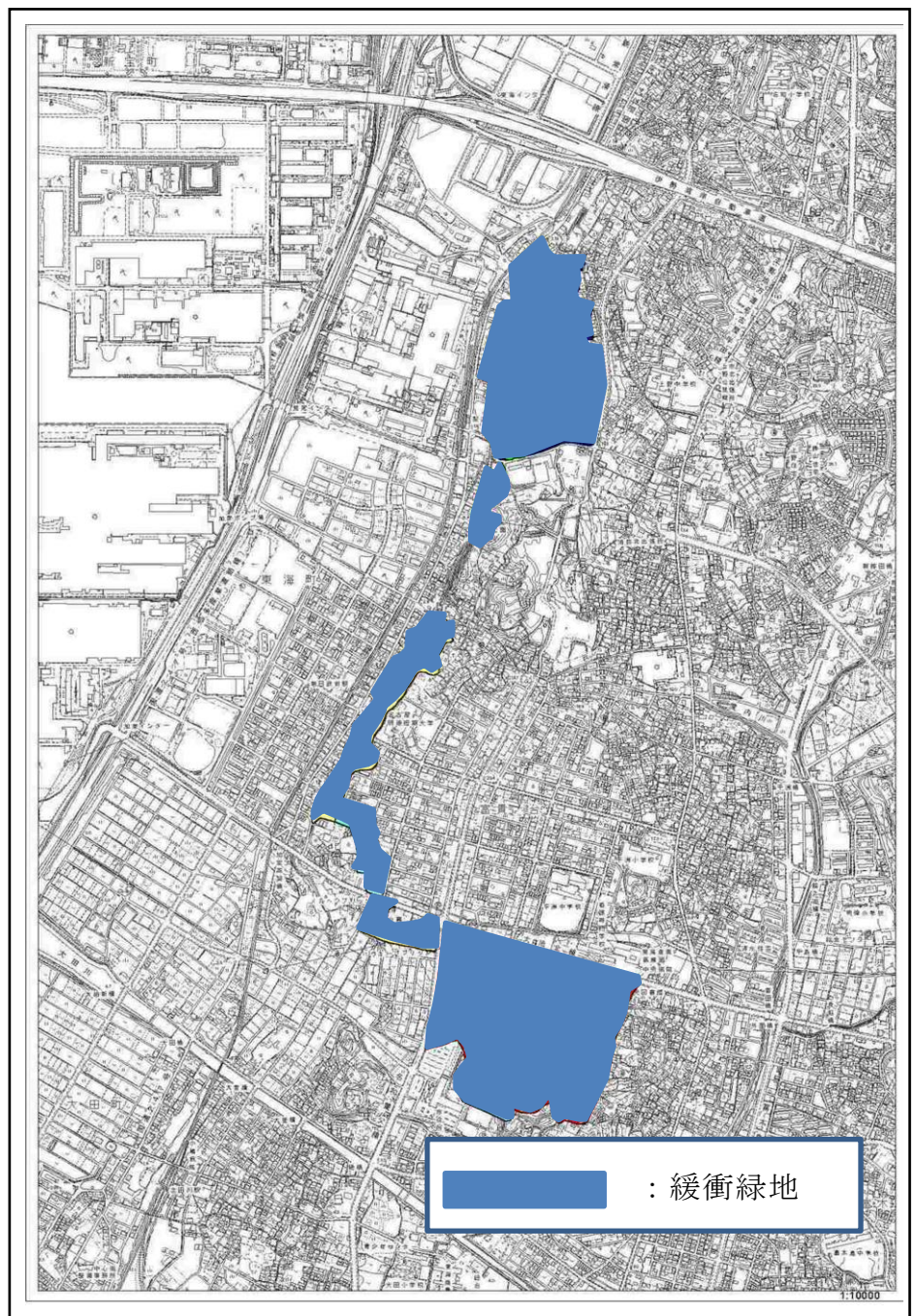
※ 大気汚染防止法、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例の大気、水質に係わる施設数については、愛知県環境白書（URL：<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/Download/Download/hakusho/r2/r2.html>）のホームページをご参照ください。

7 緩衝緑地（共同福利施設）等

緩衝緑地は、工業地帯から発生する騒音、粉じん等をやわらげ、快適な生活環境の保全と非常災害時の安全対策、併せて市民のレクリエーションの場を提供するため造成されたもので、事業費は企業が3分の1、その他を国、県及び市がそれぞれ負担し、昭和45年度（1970年度）の第1期事業に始まり第3期事業が58年度に完成しました。

さらに、平成元年度（1989年度）からは、健康被害予防事業の一つとして大気汚染対策緑地（聚楽園公園）建設のため環境事業団に事務を委託し平成9年度（1997年度）に完成しました。

また、緩衝緑地には、大池公園、大窪公園、加家公園、聚楽園公園とそれぞれ都市公園名が付けられ、市民の憩いの場として広く利用され、特に大池公園には子供たちに人気のある小動物園、野球場、動植物資料館のほか、花木類等が植栽され、春には、梅、桜、初夏には花しょうぶ、アジサイ、秋にはハギ、冬にはサザンカなど四季を通じて花が咲き誇り、市内はもとより市外からも多くの人が訪れます。



・共同福利施設等の概要



大池公園

名 称 東海地区第1期共同福利施設
 (大池公園)
 事業年度 昭和45年度(1970年度)～
 昭和48年度(1973年度)
 面 積 23.9 h a
 総事業費 1,396,500 千円
 主な施設
 園路広場：芝生広場7ヶ所、園路
 修景施設：高・中木 3,485本
 休養施設：あずまや、パーゴラ
 運動施設：運動広場、球技場
 便益施設：便所3棟、水飲台11ヶ所
 管理施設：管理事務所、照明灯

名 称 東海地区第2期共同福利施設
 (加家公園、大窪公園)
 事業年度 昭和48年度(1973年度)～
 昭和52年度(1977年度)
 面 積 6.7 h a
 総事業費 1,457,092 千円
 主な施設
 園路広場：芝生広場4ヶ所、園路
 修景施設：高・中木 9,219本
 休養施設：パーゴラ、シェルター
 便益施設：便所3棟、水飲台3ヶ所
 管理施設：照明灯



メルヘンの森



聚楽園公園

名 称 東海地区第3期共同福利施設
 (加家公園、聚楽園公園)
 事業年度 昭和53年度(1978年度)～
 昭和58年度(1983年度)
 面 積 3.1 h a
 総事業費 1,448,500 千円
 主な施設
 園路広場：広場4ヶ所、園路
 修景施設：高・中木 5,710本
 休養施設：シェルター、ベンチ
 便益施設：便所1棟、水飲台1ヶ所
 管理施設：時計塔、照明灯

名 称 大気汚染対策緑地(聚楽園公園)
 事業年度 平成元年度(1989年度)～平成9年度(1997年度)
 面 積 15.3 h a
 総事業費 14,193,267 千円
 主な施設 園路広場、修景施設、休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設

8 生活排水対策

水質調査を行い、河川の状態を監視しています。

また、河川の浄化を目指し、広報誌でのPR活動を行っています。

下水道の整備についても順次行っており、河川の水質は徐々に改善されてきています。

9 低公害車の導入（令和3年（2021年）4月1日現在）

公用車に低公害車の導入を図ることにより、自動車公害対策、地球温暖化防止対策を促進し、地域の大気環境の改善を目指します。

車種	台数(台)	備考
水素燃料電池自動車	1	
電気自動車	1	
ハイブリッド自動車	3	
天然ガス自動車	1	
低排出ガスかつ低燃費車	74	
・H30☆☆☆☆かつ低燃費	(3)	H30 基準比 50%削減
・H21☆かつ低燃費	(2)	H21 基準比 10%削減
・H17☆☆☆☆かつ低燃費	(44)	H17 基準比 75%削減
・H17☆☆☆かつ低燃費	(14)	H17 基準比 50%削減
・H12☆☆☆かつ低燃費	(2)	H12 基準比 75%削減
・H12☆☆かつ低燃費	(6)	H12 基準比 50%削減
・H12☆かつ低燃費	(3)	H12 基準比 25%削減
計	80	

10 環境学習

環境負荷の少ないライフスタイルの理解を深めるため、環境学習教室を実施しました。

(1) エコスクール

開催日	内 容	参加人数
4/25 土	公園のタケノコを採って各種料理を学ぼう	コロナにより中止
5/16 土	ヒメボタルに会いに行こう	コロナにより中止
5/17 日	春の親子農業体験教室	コロナにより中止
5/23 土	公園の梅の実を採って各種料理を学ぼう	コロナにより中止
5/24 日	東海市自然探検隊①～横須賀新川で生き物を調べよう～	コロナにより中止
6/13 土	フジバカマの花畑づくり、水辺のビオトープづくり	42
7/11 土	夏の昆虫とオオケマイマイをみつけよう	荒天中止
8/22 土	手づくり紙細工教室	コロナにより中止
8/22 土	エコって工作	32
8/23 日	東海市自然探検隊②～上野新川で生き物を調べよう～	コロナにより中止
9/6 日	アロマキャンドルづくり	コロナにより中止
9/19 土	秋の虫をみつけよう	28
9/29 火	エコクッキング	17
10/4 日	藤前干潟と海の生き物～生物多様性の保全について学ぶ～	15
10/11 日	アサギマダラを見つけにいこう	35
10/11 日	つくってあそぼう！エコたっこ	16
10/17 土	フジバカマの花畑に飛来するアサギマダラの観察など	14
10/18 日	公園のキノコを観察しよう	6
10/18 日	秋の親子農業体験教室	78
10/25 日	名古屋港の水質を実感しよう！	12
11/14 土	家庭園芸講座果樹コース	20
11/21 土	花畑ビオトープづくりとして、菜の花の種まき	17
12/24 木	「ガラスの地球を救え！」上映会	20
12/26 土	星の観察会	22
1/23 土	公園の野鳥を観察しよう	荒天中止
2/13 土	朽木にすむ虫を観察しよう	24
3/7 日	健康ウォーキング	168
3/13 土	春の草花鑑賞とビオトープづくり	34
計	予定 28 講座・実施 18 講座	600



講座「名古屋港の水質を実感しよう！」



講座「藤前干潟と海の生き物～生物多様性の保全について学ぶ～」

(2) 環境ひろば（東海秋まつり）

新型コロナウイルス感染症により中止しました。

1 1 環境美化

(1) 地域清掃活動

「東海市空き缶等ごみ散乱防止条例」第8条の規定に基づき、毎年6月及び9月を「ごみ散乱防止市民行動月間」と定めています。

平成22年度（2010年度）から「環境月間」にあたる6月の第1日曜日を「市内一斉清掃日」と定め、各地域コミュニティの協力を得て清掃活動を実施しています。

また、秋季には、町内会・自治会、コミュニティ、企業、各種団体等の協力を得て、地域の清掃活動を実施しています。

令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数及び参加人数が減少しました。

・令和2年度（2020年度）地域清掃活動結果

実施主体	延べ実施回数(回)	延べ参加人数(人)	備考
コミュニティ・町内会連合会	4	1,516	夏季：中止 秋季：1,516人
町内会・自治会	5	675	
保育園保護者会・児童館母親クラブ	13	863	
子ども会連合会	0	0	
ボーイスカウト・ガールスカウト	3	80	
事業所・その他団体・個人	15	2,007	
合計	40	5,141	

(2) 放置自動車の状況（市管理地）

（令和3年（2021年）3月31日現在）

単位：台

区分	道路等	公園	その他の公共用地	計
市道等	0	0	0	0
保管所	0	0	2	2
計	0	0	2	2

12 環境衛生

(1) 環境衛生に関する依頼

年 度	空き地等の 雑草（件）	スズメバチ類の 巣の撤去（件）	合 計 （件）
平成30年度	80	43	123
令和元年度	92	75	167
令和2年度	108	91	199

(3) 狂犬病予防

ア 犬の登録と狂犬病予防注射は、狂犬病予防法により義務づけられています。犬の登録はその飼育形態を正確に把握し、狂犬病が発生した時に迅速に対処するためのものです。狂犬病予防注射は狂犬病の蔓延防止のために毎年1回行うものです。

イ 犬の登録、予防注射実施状況

（令和3年（2021年）3月31日現在）

単位：頭

項 目		年 度		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録頭数（転入含む）		5,858	5,828	5,823
登 録	集 合	9	12	—
	個 別	506	502	576
	合 計	515	514	576
注 射	集 合	997	964	—
	個 別	4,251	4,265	5,052
	合 計	5,248	5,229	5,052

※令和2年度の集合注射は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

ウ 犬等の苦情等受付状況（市受付分）

単位：件

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
犬	5	2	7
猫	14	12	16

- ※ こう傷事件件数、捕獲犬頭数、引取犬・猫頭数については、愛知県動物愛護センターホームページ（URL：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/doukan-c/jigyougaiyou.html>）のホームページをご参照ください。
- ※ 食品関係施設数、食中毒発生状況については、愛知県の食中毒発生状況（URL：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/eisei/hasseijoukyou.html>）のホームページをご参照ください。

13 東海市環境モニター

環境モニターは、生活環境に対しての幅広い意見、要望などを把握し、快適な生活環境づくりの推進に役立てることを目的に平成2年（1990年）6月に設置され、市内各小学校区に各1人計12人の市民の皆さんにお願いしています。

・令和2年度（2020年度）の報告内容の内訳

単位：件

内 容		件 数
公 害 関 係	生活排水	0
	粉じん	0
	大気汚染	0
	交通騒音	0
	健康への影響	0
ご み 関 係	集積場所の管理	9
	不法投棄（自転車等含む）	7
	資源ごみとリサイクル	0
	ごみの出し方等について	2
	指定袋について	0
	家庭等での焼却	0
そ の 他	道路・河川の管理	12
	空き地等の管理	3
	街路樹・公園の管理	22
	不法駐車・放置自動車	1
	交通標識・防犯灯等	21
	ペットの飼育等	0
	そ の 他	26
合 計		103

14 苦情

本市における令和2年度（2020年度）の公害に係る苦情の新規受理件数は105件で、前年度の54件に比べ51件の増（対前年度比+94.4%）でした。

苦情件数を公害の種類別に見てみますと、大気汚染が49件（全苦情の46.7%）と最も多く、次に騒音30件（同28.6%）、悪臭13件（同12.4%）の順となっており、大気汚染、騒音及び悪臭の3項目で苦情のほとんどを占めています。

発生源別では、建設業25件（全苦情の23.8%）、製造業が16件（同15.2%）、農業及び家庭生活が9件（同8.6%）の順になっています。

・受理件数の推移（新規受理）

単位：件

年度 \ 項目	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	その他	合計
平成28年度	34	4	21	3	8	1	0	71
平成29年度	55	10	23	5	9	0	1	103
平成30年度	13	3	17	1	6	0	7	47
令和元年度	28	0	16	0	9	0	1	54
令和2年度	49	8	30	5	13	0	3	105

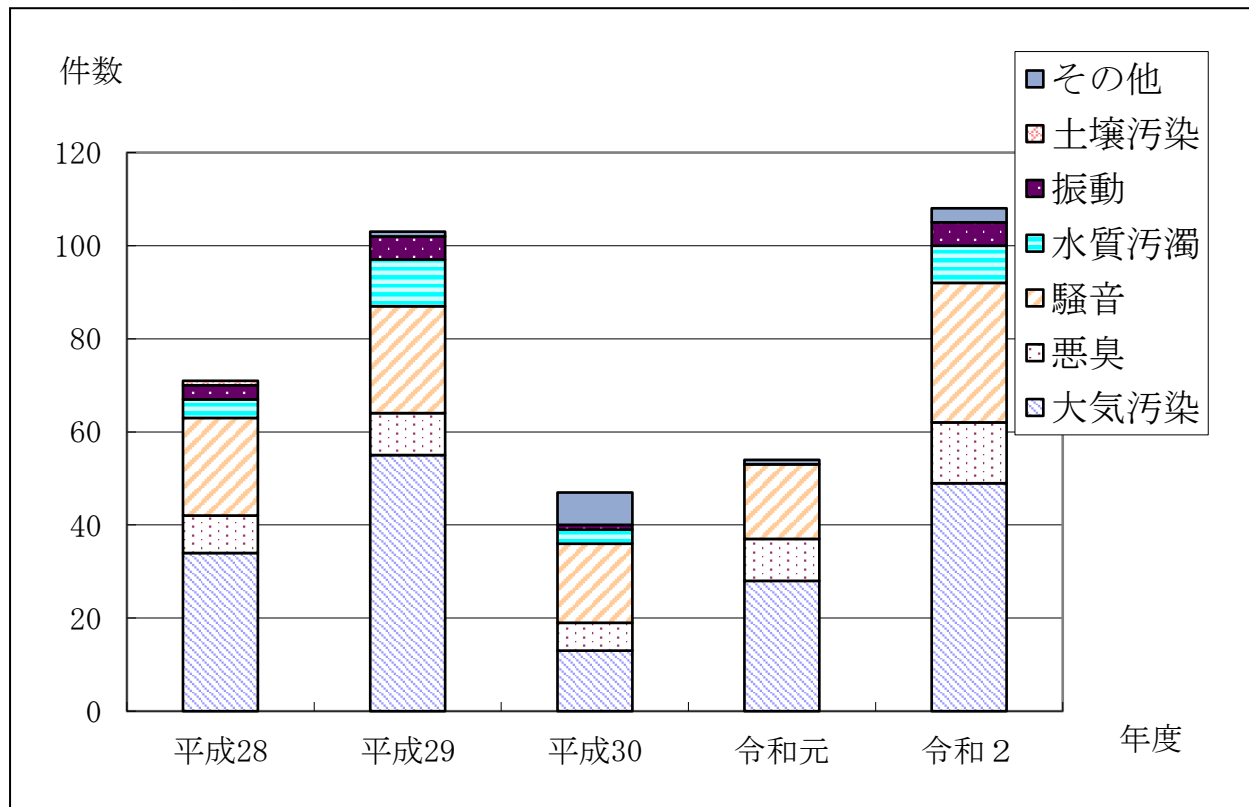
※令和2年度は重複した苦情が3件あるため各項目の和と合計が異なるもの

・発生源別件数の推移（新規受理）

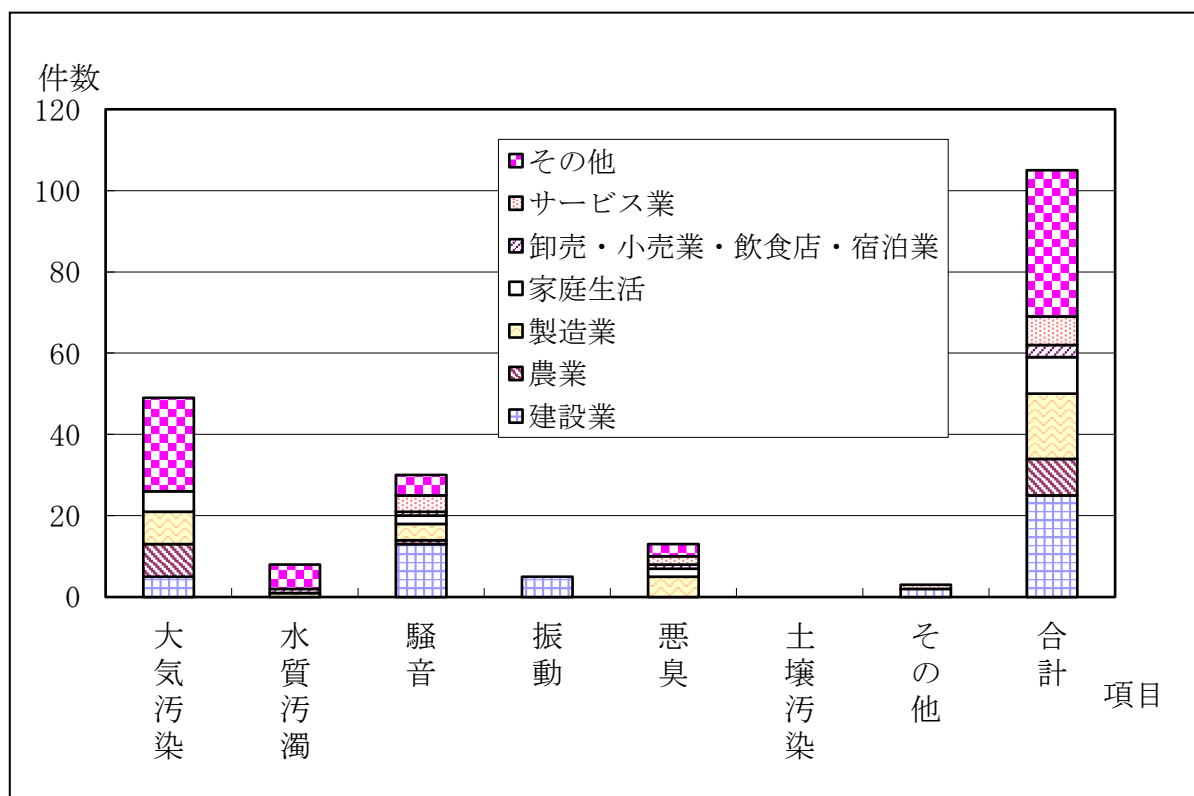
単位：件

年度 \ 項目	建設業	製造業	農業	銃・焼 ・飲食店 ・宿泊業	サービス業	家庭生活	その他・不明	合計
平成28年度	17	6	16	4	2	8	18	71
平成29年度	15	7	16	9	5	9	42	103
平成30年度	6	9	10	0	1	0	21	47
令和元年度	17	15	7	6	2	0	7	54
令和2年度	25	16	9	3	7	9	36	105

・受理件数の推移（新規受理）



・令和2年度（2020年度）の発生源別受理件数の構成（新規受理）



15 補助制度

(1) 住宅用地球温暖化対策設備等導入促進費補助金

地球温暖化防止対策の一環として、住宅用太陽光発電施設等を設置する市民に対して、経費の一部を補助することによりクリーンエネルギー利用を支援しました。

補助金実績（令和2年度（2020年度））

名 称	補助メニュー	件数(件)	金 額 (千円)
住宅用地球温暖化対策設備等導入促進費補助金	家庭用エネルギー管理システム	11	110
	家庭用燃料電池システム	15	750
	定置用リチウムイオン蓄電システム	65	5,200
	電気自動車等充給電設備	2	100
	一体的導入（住宅用太陽光発電施設、家庭用エネルギー管理システム、定置用リチウムイオン蓄電システム）	21	2,664
	一体的導入（住宅用太陽光発電施設、家庭用エネルギー管理システム、電気自動車等充給電設備）	0	0
	一体的導入【ZEH】（住宅用太陽光発電施設、家庭用エネルギー管理システム、高性能外皮等）	10	1,500

(2) 猫避妊等手術費補助金

野良猫の増加を防止し、市民の生活環境を改善するため、地域ねこの避妊又は去勢手術費の一部を補助しました。

補助金実績（令和2年度（2020年度））

名 称	補助メニュー	件数(件)	金 額(千円)
猫避妊等手術費補助金	避 妊	71	710
	去 勢	57	336
	計	128	1,046